

設定シート 設定値を「あなたの設定」の欄に記入して、実際の設定時にお役立てください。詳しくはマニュアルをご覧ください。

PUPPYの初期設定

設定項目	選択肢	初期値	あなたの設定	初期設定後の変更	
				管理者	クライアント
初期設定	ユーザー名			可	不可
	管理者パスワード			可	不可
	登録用パスワード			可	不可
	配布前の設定	証明書をインポートする	-		
Password Providerデータをインポートする		-			
Windowsログオン情報を設定する		-			

動作環境設定

認証設定		初期値	あなたの設定	管理者	クライアント	説明
ユーザーの登録制限	登録できる	●		可	不可	ユーザーがユーザー登録(指紋登録)をできる
	管理者の認証が必要			可	不可	ユーザーがユーザー登録(指紋登録)を開始する際、登録用パスワードの入力に加え、管理者パスワードの入力も必要
	登録できない					ユーザーは、ユーザー登録(指紋登録)ができない
認証方法の変更制限	変更できる	●		可	不可	ユーザーが認証方法を変更できる
	管理者の認証が必要			可	不可	ユーザーが認証方法を変更する際に、管理者パスワードの入力を必要
	変更できない					ユーザーは、認証方法の変更ができない
認証方法の初期値	指紋のみ	●		-	-	指紋でのみ認証を行う設定にする
	パスワードのみ			-	-	パスワードでのみ認証を行う設定にする
	指紋 OR パスワード			-	-	指紋かパスワードのどちらか一方で認証を行う設定にする
	指紋 AND パスワード			-	-	指紋とパスワードの両方で認証を行う設定にする
	AND認証 OR 指紋			-	-	ユーザーが「指紋 AND パスワード」と「指紋のみ」のどちらを使用するか選択できる
指紋の追加登録制限	追加できる	●		可	不可	ユーザーが自由に指紋を追加登録できる
	管理者の認証が必要			可	不可	指紋を追加登録する際に、管理者パスワードの入力を必要
	追加できない					ユーザーは、指紋の追加登録ができない
指紋の変更制限	変更できる	●		可	不可	ユーザーが自由に指紋を変更(上書き)できる
	管理者の認証が必要			可	不可	指紋を変更(上書き)する際に、管理者パスワードの入力を必要
	変更できない					ユーザーは、指紋の変更(上書き)ができない
指紋の削除制限	削除できる	●		可	不可	ユーザーが自由に指紋を削除できる
	管理者の認証が必要			可	不可	指紋を削除する際に、管理者パスワードの入力を必要
	削除できない					ユーザーは指紋の削除ができない
指紋の登録本数	制限しない	●		可	不可	指紋の最大登録本数を制限しない。最大10本まで登録することができる
	制限する 本まで	1		可	不可	指紋の最大登録本数を1本から10本の間で設定する
照合レベルの変更制限	変更できる	●		可	不可	ユーザーが自由に照合レベルを変更できる
	管理者の認証が必要			可	不可	照合レベルを変更する際に、管理者パスワードの入力を必要
	変更できない					ユーザーは照合レベルの変更ができない
照合レベルの初期値	レベル	2		-	-	(上記の設定で許可されていれば認証方法の変更は可能) 照合レベルをあらかじめ設定する。レベル5が一番照合が厳しい
パスワードの変更制限	変更できる	●		可	不可	ユーザーが自由に PUPPY のパスワードを変更できる
	管理者の認証が必要			可	不可	PUPPY のパスワードを変更する際に、管理者パスワードの入力を必要
	変更できない					ユーザーは PUPPY のパスワードの変更ができない
パスワードの最小文字数	制限しない	●		可	不可	PUPPY のパスワードを設定する際、最少文字数を制限しない
	制限する 文字以上	4		可	不可	PUPPY のパスワードを設定する際、最少文字数を設定する
パスワードの制限	制限しない	●		可	不可	PUPPY のパスワードを設定する際、設定文字を制限しない
	制限する 大文字が必要			可	不可	PUPPY のパスワードを設定する際、設定文字を制限する
	小文字が必要			可	不可	PUPPY のパスワードを設定する際、英字の大文字を含む設定にする
	数字が必要			可	不可	PUPPY のパスワードを設定する際、英字の小文字を含む設定にする
	記号が必要			可	不可	PUPPY のパスワードを設定する際、数字を含む設定にする

認証失敗設定

設定項目	初期値	あなたの設定	管理者	クライアント	説明
設定しない	●				認証失敗の機能を使用しない設定にする
設定する					認証失敗の機能を使用する設定にする
規定回数の初期設定	20				認証失敗の規定回数を設定する。設定できる回数は1から99回
モードの初期設定	認証のロック	●			PUPPY の認証をロックし、認証を行えない状態にする。認証のロックを解除するためには、認証ロックの解除パスワードが必要
	保護領域のデータの消去				保護領域内のデータ(ユーザーファイル)をすべて消去し、保護領域をフォーマットされていない状態にする。
	保護領域のデータの消去 + 認証ロック				「保護領域のデータ消去」と「認証のロック」の両方を行う
	保護領域のデータの消去 + システム領域の消去				「保護領域のデータ消去」に加え、システム領域の消去(指紋やパスワードなどの消去、および、Windowsログオン情報や証明書などの消去)もを行い、PUPPYを使えない状態にする
認証ロックの解除制限	解除できる	●		不可	ユーザーは「認証ロックの解除パスワード」を入力し、自由に認証ロックを解除することができる
	管理者の認証が必要			不可	「認証ロックの解除パスワード」を入力する際に、管理者パスワードの入力を必要
	解除できない			不可	ユーザーは「認証ロックの解除パスワード」を入力することができず、認証ロックを解除することができない

定	認証ロックの解除パスワードの初期値	認証ロックの解除パスワード				解除パスワードの初期値を設定する
	認証ロックの解除パスワードの変更制限	変更できる	●			ユーザーが自由に「認証ロックの解除パスワード」を変更できる
		管理者の認証が必要				「認証ロックの解除パスワード」を変更する際に、管理者パスワードの入力が必要
	認証ロックの解除パスワードの最大文字数	変更できない				ユーザーは「認証ロックの解除パスワード」の変更ができない
		制限しない	●			認証ロックの解除パスワードを設定する際、最少文字数を制限しない
	認証ロックの解除パスワードの制限	制限する				認証ロックの解除パスワードを設定する際、最少文字数を設定する
		文字以上	4			認証ロックの解除パスワードを設定する際、設定文字を制限しない
		制限しない	●			認証ロックの解除パスワードを設定する際、設定文字を制限する
		制限する				認証ロックの解除パスワードを設定する際、英字の大文字を含む設定にする
		大文字が必要				認証ロックの解除パスワードを設定する際、英字の小文字を含む設定にする
小文字が必要					認証ロックの解除パスワードを設定する際、数字を含む設定にする	
	数字が必要				認証ロックの解除パスワードを設定する際、記号を含む設定にする	
	記号が必要				認証ロックの解除パスワードを設定する際、記号を含む設定にする	

ドライブ設定							
ドライブの初期設定	2ドライブ		●		-	PUPPY のドライブ構成を 2ドライブに設定する	
	全通常領域		●			すべての領域を通常領域に設定する	
	全保護領域					すべての領域を保護領域に設定する	
	通常領域のサイズ指定					通常領域の容量を指定する。残りの容量が保護領域の容量になる	
	MB					保護領域の容量を指定する。残りの容量が通常領域の容量になる	
	保護領域のサイズ指定					保護領域の容量を指定する。残りの容量が通常領域の容量になる	
	MB						
	1ドライブ					PUPPY のドライブ構成を 1ドライブに設定する	
	全通常領域					すべての領域を通常領域に設定する	
	全保護領域					すべての領域を保護領域に設定する	
保護領域の変更制限	OFF					PUPPY のリムーバブル記憶領域を使用しないよう設定する	
	変更できる		●		可	不可	ユーザーが自由に保護領域のサイズを変更できる
	管理者の認証が必要						保護領域のサイズを変更する際に、管理者パスワードの入力が必要
ボリュームラベルの初期設定	変更できない					ユーザーは保護領域のサイズ変更ができない	
	通常領域 機種名		●		-	-	通常領域のボリュームラベルを機種名にする
	機種名と識別子						通常領域のボリュームラベルを任意に決める
	任意で指定						保護領域のボリュームラベルを任意に決める
ファイルコピー	保護領域 機種名		●		-	-	保護領域のボリュームラベルを機種名にする
	機種名と識別子						保護領域のボリュームラベルを任意に決める
ライトプロテクトの初期設定	任意で指定						保護領域のボリュームラベルを任意に決める
	通常領域				-	-	PUPPY を配布する前に通常領域にファイルをコピーする
ライトプロテクトの変更制限	保護領域						PUPPY を配布する前に保護領域にファイルをコピーする
	通常領域						通常領域のライトプロテクトを設定する
ライトプロテクトの変更制限	通常領域		●		可	不可	ユーザーが自由にライトプロテクトの ON / OFF を行うことができる
	管理者の認証が必要						ライトプロテクトの ON / OFF を変更する際に、管理者パスワードの入力が必要
	変更できない						ユーザーはライトプロテクトの ON / OFF を変更できない
	保護領域		●		可	不可	ユーザーが自由にライトプロテクトの ON / OFF を行うことができる
	管理者の認証が必要						ライトプロテクトの ON / OFF を変更する際に、管理者パスワードの入力が必要
	変更できない						ユーザーはライトプロテクトの ON / OFF を変更できない

権限設定							
管理者ツールの起動権限	管理者ツールを起動できる				可	不可	PUPPY に管理者ツールの起動権限を設定する
PUPPY の初期化権限	この PUPPY の初期化に管理者の認証が必要				可	不可	このチェックを有効にすると、PUPPY の初期化を行う際に管理者パスワードの入力が必要になる
アンインストール権限	アンインストールできない	●			可	不可	アンインストール権限を与えない
	クライアント版のみアンインストールできる						クライアント版のみアンインストールできる権限を与える
	管理者版とクライアント版をアンインストールできる						管理者版、クライアント版の両方をアンインストールできる権限を与える

アプリケーション設定							
証明書のインポート制限	インポートできる	●			可	不可	ユーザーが自由に証明書をインポートできる
	管理者の認証が必要						証明書をインポートする際に、管理者パスワードの入力が必要
証明書のエクスポート制限	インポートできない						ユーザーは証明書のインポートができない
	エクスポートできる	●			可	不可	ユーザーが自由に証明書をエクスポートできる
証明書の削除制限	管理者の認証が必要				可	不可	証明書をエクスポートする際に、管理者パスワードの入力が必要
	削除できない	●					ユーザーは証明書のエクスポートができない
証明書の枚数	削除できる	●			可	不可	ユーザーが自由に証明書を削除できる
	制限しない	●					証明書を削除する際に、管理者パスワードの入力が必要
WCS への自動登録/削除	制限する						ユーザーは証明書の削除ができない
	枚まで	1			可	不可	PUPPY に保存できる証明書の最大枚数を制限しない
	設定しない	●					PUPPY に保存できる証明書の最大枚数を 1 枚から 100 枚の間で設定する
	設定する				可	不可	ユーザーは個人証明書の WCS への自動登録・削除を行うか自由に設定できる
	実施する	●					ユーザーは個人証明書の WCS への自動登録・削除を行うか自由に設定できない
	実施しない						PC への接続・取り外しに連動して WCS へ個人証明書の自動登録・削除を行う
	設定しない	●					WCS への個人証明書の自動登録・削除は行わない
	設定する						PUPPY を PC から取り外した際の動作を制限しない
							PUPPY を PC から取り外した際の動作を設定する

PUPPYの取り外し設定	コンピュータのロック			可	可	PUPPYをPCから取り外した際、コンピュータのロックが実行される設定にする
	ログオフ					PUPPYをPCから取り外した際、ログオフが実行されるよう設定する
	何もしない					PUPPYをPCから取り外した際に何も実行しないよう設定する
P.Providerの登録制限	登録できる	●		可	不可	ユーザーが自由に Password Provider データを登録できる
	管理者の認証が必要					Password Provider データを登録する際に、管理者パスワードの入力を必要とする
	登録できない					ユーザーは Password Provider データの登録ができない
P.Providerの編集制限	編集できる	●		可	不可	ユーザーが自由に、管理者が登録した Password Provider データを編集できる
	管理者の認証が必要					管理者が登録した Password Provider データを編集する際に、管理者パスワードの入力を必要とする
	編集できない					ユーザーは管理者が登録した Password Provider データの編集ができない
P.Providerの削除制限	削除できる	●		可	不可	ユーザーが自由に、管理者が登録した Password Provider データを削除できる
	管理者の認証が必要					管理者が登録した Password Provider データを削除する際に、管理者パスワードの入力を必要とする
	削除できない					ユーザーは管理者が登録した Password Provider データの編集ができない
P.Providerの初期設定	データの登録		Alt	-	-	(割り当てキーの変更可能) Password Providerデータ登録のキーを設定する
	認証ダイアログの表示		F12	-	-	(割り当てキーの変更可能) 認証ダイアログの表示のキーを設定する
Windowsパスワードの更新制限	更新できる	●		可	不可	ユーザーはWindowsパスワードを更新できる
	更新できない					ユーザーはWindowsパスワードを更新できない
	乱数を生成する文字		1			Windowsセキュリティポリシーの「パスワードの有効期間」が切れた際に自動的に乱数を生成し、それを新しいWindowsパスワードとして更新する
Windowsログオン情報の追加制限	追加できる	●		可	不可	ユーザーがアカウントマネージャにて自由に Windowsログオン情報を追加登録できる
	管理者の認証が必要					アカウントマネージャにて Windowsログオン情報を追加登録する際に、管理者パスワードの入力を必要とする
	追加できない					ユーザーは Windowsログオン情報の追加登録ができない
Windowsログオン情報の編集制限	編集できる	●		可	不可	ユーザーが自由に、管理者が登録した Windowsログオン情報を編集できる
	管理者の認証が必要					管理者が登録した Windowsログオン情報を編集する際に、管理者パスワードの入力を必要とする
	編集できない					ユーザーは管理者が登録した Windowsログオン情報の編集ができない
Windowsログオン情報の削除制限	削除できる	●		可	不可	ユーザーが自由に、管理者が登録した Windowsログオン情報を削除できる
	管理者の認証が必要					管理者が登録した Windowsログオン情報を削除する際に、管理者パスワードの入力を必要とする
	削除できない					ユーザーは管理者が登録した Windowsログオン情報の削除ができない

FTP設定

FTPの設定	設定しない	●		可	不可	FTPを利用したアプリケーションデータの更新を行わない FTPを利用したアプリケーションデータの更新を行う		
	設定する							
	サーバ名							
	ポート番号		21					
	作業フォルダ							
	ユーザ名							
	パスワード							
	パスワードの入力確認							
	ダウンロード項目	証明書をダウンロードする						チェックを有効にすると、証明書をダウンロードできる設定にする
		ダウンロード後、証明書を削除する						チェックを有効にすると、ダウンロード後、証明書をFTPサーバから削除する設定にする
PasswordProviderデータをダウンロードする				チェックを有効にすると、Password Providerデータをダウンロードする設定にする				
Windowsログオン情報をダウンロードする				チェックを有効にすると、Windowsログオン情報をダウンロードする設定にする				

4thEye/NonCopy	*オプション			可	不可	
4thEye	シリアルキー		使うなら必須			
NonCopy	シリアルキー		使うなら必須			
	暗号化用パスフレーズ		使うなら必須			
	パスフレーズの確認		使うなら必須			
マスタ登録	シリアルキー		使うなら必須			
	マスタ登録用パスフレーズ		使うなら必須			
	パスフレーズの確認		使うなら必須			